



旭

農

旭川農業高等学校
同窓会 機関誌

旭農、永農同窓生の皆様には、平成二十九年の新春を、大きな希望のもと、お迎えされたことをお喜び申し上げます。

国内外を問わず、政治、経済状況の厳しさが増す中、農業に於いても例外ではなく、先人の血のにじむ様な努力によつて築かれた、日本農業は今や新鮮と安全で世界に誇れる地位を築いてきました。しかしながら、これ以上に国



第八代同窓会 会長
福島 堅一 (35 Ab)

旭農農業の教育の充実

際競争に打ち勝つ農業改革がせまられており、T P P問題にある様に国際競争に勝つためには、まだまだ規模拡大、経済的構造改革が必要であります。

しかし、少子高齢化の中で、農業経営者の確保も大きな課題であります。

またここ数年日本では、大きな災害が頻発し、地震、水害に加え、原子力発電の事故も、復興の目処もついていない状態です。

北海道に目を向けると、過疎化が進み、採算を理由に鉄道網がどんどん廃止され、物流に大きな支障をきたし道民の日常生活も厳しい状況にあります。こんな厳しい北海道経済の復興のためには、これから社会に

人達の期待は、非常に大きいと思います。今こそ、百年の歴史と伝統を誇る旭農校の産業教育、特に直接動物の鼓動を聞き、作物の息吹きを感じながら、直接触れ合う農業教育力が非常に大切になると思います。

日頃の旭農校の生徒の皆さんの活躍と実績は、すばらしく、学校をとりまく地域はもちろん、北海道内、また首都圏、全国的にも、有名校となり、生徒達も自信と大きな力をつけて果立っています。

このことは同窓会としても大きな誇りであり、これから果立つ人達が、産業の構成員として、高い識見をもち、活躍出来る、力を備えた人材育成のため、校訓の「誠実、勤労、剛健」を尊び食、農、環境を、学び、大きく、成長される様祈る様な気持ちで、支援の輪を広げる事を確認しています。全国で活躍する、同窓生の皆様にも暖かいご理解とご協力をお願い致します。

六年後に迫る、旭農校、開校百年周年についても、尊い歴史を今一度高い評価で受けとめ、広く、その存在を確認したいと思います。

総会の中でも意義のある百年記念となる様にとの意見もあり、母校との連携をもとに計画を進めるつもりです。同窓生の皆様にもご支援をお願いする事となりますが一層のご協力を期待します。

旭川農業高等学校の充実と飛躍をご祈念申し上げます。

ご挨拶



第二十六代 校長
畠山 佳幸

永農 旭農同窓生の皆様には、日頃から本校の教育活動に対しご支援、ご協力いただいていることに對しまして、心からお礼申し上げます。旭農に赴任し2年が過ぎようとしてますが旭農の生徒たちは熱心に学習や農業クラブ活動、生徒会行事、部活動に取り組みんでおり、その姿を見るたびに、本当に恵まれた農業高校で勤務させてもらっていることに感謝の気持ちを抱かずにはいられません。今後とも伝統校で勤務している責任を忘れることなく旭農がさらに発展していける学校づくりに取り組んでいきたいと思ひます。さらに、同窓会活動につきましても各支部の「総会」「同窓会の集い」等、精力的に開催され同窓生の絆をより強固なものにされていることを心強く思っています。

今、私達教職員は参画と協働により学校・地域・家庭が一体となった旭農づくりを基本に、創立94年の歴史の中で築き上げられた良き伝統と地域の支援を継承し、地域から愛され信頼される新たな魅力ある学校づくりを推進しています。とくに生徒たちが歩んでいくこれからの社会は大きな変化を続け、何が起こるか予測困難な時代です。しかし、そう言う状況だからこそ、生徒たちには夢や志を抱かせ、大きな変動、変革の中にあつても、自らの未来を切り開ける力を身につけてほしいと願っています。これからの教育活動においては、何かを知っているだけではなく、知識を活用し何が出来るか、何を求めるかが求められています。この能力は、単に二つの科目における学力にとどまらず、今後、経験する様々な場面ですべてくるはずで、そして、生徒たちが進んでいく進路においても大きな財産となっていくと思ひます。生徒たちが多方面で活用できる知恵を身につけて学び舎を果立っているように努めたいと考えています。

また学校の様子ですが、各種販売会の実施、地域との交流学習、農業クラブ活動、生徒会活動、ボランティア活動、部活動等も地域の方から評価をいただいております。このような様々な活動の支援となつて御座います同窓会からの「教育振興基金」があり生徒達が充実した活動が行えていることにも感謝申し上げます。

終わりに、今後とも本校の教育活動にご支援とご協力をお願い申し上げて校長の挨拶といたします。

●平成28年決算・平成29年予算案

項 目	H28決算	H29予算	適 用
繰越金	609,012	499,540	
正 会 員 会 費	972,000	936,000	卒業生156名×6,000円
雑 収 入	137,047	388	利息・集い残金他
基金運用益金	2,333,072	2,333,072	国債
合 計	4,051,131	3,769,000	

事務費	備品費	174,356	20,000	パソコン他
	通信費	6,802	20,000	切手はがき
	印刷費	5,184	20,000	封筒印刷 紙
	消耗品費	18,342	20,000	PPC用紙 マスター紙
	幹事活動助成費	40,000	50,000	校内幹事活動費
事業費	小 計	244,684	130,000	
	機関誌	258,962	300,000	印刷 送料
	卒業記念品費	172,324	160,000	名刺ケース 他
	慶弔費	22,184	60,000	弔電・生花・香典
	諸 費	163,292	300,000	支部総会祝儀 他
	小 計	616,762	820,000	
	役員手当	110,000	110,000	役員
	旅 費	452,173	600,000	総会 支部総会等
	会議費	144,939	200,000	総会会場 接待費
	予備費	343,033	209,000	集い助成 他
	教育振興助成	1,400,000	1,400,000	本校助成
	支部活動費	240,000	300,000	支部活動助成
	小 計	2,690,145	2,819,000	
	次年度繰越	499,540		
	合 計	4,051,131	3,769,000	

●平成29年 教育振興基金(国債運用基金額 145,000,000円)

基金額	利息	税金	基金運用益金
	2,755,000	国 税 421,928	
		地 方 税	法改正により免除
合 計	2,755,000	421,928	2,333,072

●平成28年度事業報告(H28.1.1~H28.12.31)

1月16日	役員会・会計監査 集い実行委員会
1月30日	平成28年同窓会総会 同窓生の集い
2月29日	役員会 同窓会入会式
3月 1日	第68回卒業式出席 機関紙第52号発行
4月 8日	平成28年度入学式出席
6月29日	役員会
11月26日	役員会 集い実行委員会
12月17日	役員会 集い実行委員会

■支部総会参加:東神楽・旭川東・末広・鷹栖・札幌・当麻・東旭川・神居・上富良野・東京・旭川北・比布・愛別・苦小牧

●平成29年度事業計画(H29.1.1~H29.12.31)

1月14日	役員会・会計監査 集い実行委員会
1月28日	平成29年同窓会総会 同窓生の集い
2月28日	役員会 同窓会入会式
3月 1日	第69回卒業式出席 機関紙第53号発行
4月 8日	平成29年度入学式出席
4月~	役員会開催・支部活動支援 教育振興基金助成・同窓会の集い開催 母校諸行事後援・母校生徒会農業クラブへの後援

旭農同窓会総会及び集いについて(報告)



同窓会 幹事長

山 川 勝(38 Ab)

旭川農業高等学校同窓会総会が、支部長及び支部代議員の出席のもと1月28日旭川市内にて開催、福島堅二会長(S35)から「それぞれの地域にあつて日頃から母校支援と同窓会活動に支援いただいていることに感謝申し上げます。」

昨年では地震台風など災害の多い年でありました。道内の被害を受けられた方々にお見舞い申し上げます。

舞い申しあげます。青函トンネルが開通して50年で新幹線が北海道の入り口まで来ましたが、過疎化が進む道内。若い人の活躍できる社会が求められ、より一層の学校教育に期待します。母校が各分野において、素晴らしい活躍が報道されており、同窓会としても高く評価するとともに誇りとするところです。さらに後輩の活躍に期待し同窓

生各位に全国48支部から卒業生への支援をお願いいたします。」と挨拶がありました。

畠山佳幸校長から生徒の活躍状況が報告され、総会議事に入り議長に、高井優(S46)愛別支部長を選出、事業報告、決算報告、監査報告並びに新年度事業計画案、予算案について満場一致承認、任期満了に伴う役員改選では、役員選考委員長の上原隆利(S35)神居支部長から会長、副会長4名、監査2名の選出報告がなされ承認されました。

その後、新福島会長から幹事長、常任理事3名、事務局長の委嘱発表があり、新役員名は別欄に掲載してあります。

平成30年の同窓会の集い当番期は、実行委員に55年卒期を中心とし平成30年1月27日に開催を確認して総会を開会。

引き続き永農・旭農同窓生の集いが、吹奏楽部の演奏後、三浦義昭実行委員長(S54東鷹栖支部)の挨拶で開会。恩師を囲んでなつかしい同窓生と和やかに懇親と卒業記念アルバムから抜粋した懐かしい木造校舎や学校行事、部活動、修学旅行などが映し出され、たびに歓声が上がりつづきました。最後は「永農歌」、「旭農校歌」を全員で合唱、学生時代の青春を思い出しに閉会いたしました。



あさがお販売会

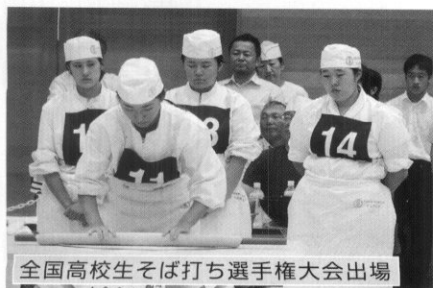


4学科1年生田植え



北海道ホルスタインナショナルショウ

農業科学科



全国高校生そば打ち選手権大会出場



スモークチキンの製造



ヨーグルトの製造

食品科学科

旭農近況報告


 頭 博 幸
西 村

同窓会会員の皆様には、日頃より母校「永農旭農」の教育活動へのご支援とご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

さて、同窓会機関誌の発行にあたり、生徒の状況等をご報告いたします。

今年度も体育会系では弓道部、文化系では吹奏楽部を始めとし、数多くの部活動が活発な活動と活躍をしております。特に弓道部は創部以来初の女子団体で全国大会へ出場し、ベスト16という輝かしい結果を残しました。また、吹奏楽部も全道大会へ出場し、金賞を受賞しております。この他、農業クラブ活動では、プロジェクト発表会において、米粉班と中華まん班が北海道の代表として全国大会への出場を果たしたほか、意見発表会においても2発表が会場し、分野1類では優秀賞を受賞しております。

旭農農業クラブ員は、北海道の農業クラブ本部校として、大いに実力を発揮し、全道の農業クラブ員を牽引する活躍をしております。

【全国大会】

◆スキー部

第66回全国高等学校スキー大会
(クロスカントリ)

2F 柿井佑太・1F 村上伊吹
1F 渡邊紅希・2M 津井ゆかり
1A 高山綾子(フリー7位)
1L 盛多ゆづき

◆弓道部

第35回全国高等学校弓道選抜大会(団体)
2M 佐藤育美・2L 太田 諒
2L 両角さくら・2L 渡部紗也

◆農業クラブ(大阪大会)

2A 今川碧唯・2M 伊東成美
3F 佐藤勇介・3L 角井瑠那

平板測量競技

3M 山口理沙・3M 木全佑莉
2M 原口裕也・2M 村岡 重

意見発表大会

1類 3A 小玉紗瑛
3類 3M 有村優季

実績発表大会

2類 3M 岡田竜我・3M 加藤嶺奈
2M 荻野裕美香・2M 三島慧

3類 3M 中村優花・3M 大竹愛佳
3M 細谷瑞季・2M 林 莉子

秋季代議員会

3A 才木綾乃

全校生徒数

(平成29年2月1日現在)

学 科 名	1年生			2年生			3年生		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
農業科学科	15	25	40	23	17	40	13	26	39
食品科学科	8	32	40	5	35	40	7	31	38
森林科学科	27	11	38	31	9	40	38	1	39
生活科学科	0	41	41	0	39	39	1	39	40
合 計	50	109	159	59	100	159	59	97	156

出身市町村別生徒数

(平成29年2月1日現在)

全校生徒は、474名男子35%、女子65%、出身市町村別に見ると旭川市の生徒が非常に多く、全体の77%の割合になっています。

市町村	生徒数	市町村	生徒数
旭川市	364	鷹栖町	17
東川町	9	美瑛町	12
東神楽町	7	比布町	12
上川町	2	和寒町	6
当麻町	22	その他	11
愛別町	12	合計	474

進路動向

(平成29年2月7日現在)

道内の高校生の12月末就職内定率は88%と前年比2.3ポイント上昇しました。本校も左図のとおり就職未決定者6名ですので、今後とも進路指導部を中心として、卒業まで全員進路決定と、1・2年生には早期からの進路指導を心がけていきます。

	希望者数	決定者数	決定率
進 学	69	65	94.2%
就 職	87	81	93.1%
自 営	0	0	0%
全 体	156	146	93.6%



◆弓道部(全国高校選抜大会)



◆吹奏楽部(集いオーブニング)



◆東京食彩フェア



◆全道実績発表大会



林業インターンシップ



シイタケ植菌実習



下川町林業実習

森林科学科



永山園との交流



鉢花販売実習



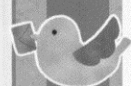
花フェスタ札幌ガーデニング甲子園

生活科学科

旭川東支部の報告

旭川東支部 支部長

飛騨野 正幸氏 (37 Aa)



支部だより



旭川東支部

私達支部は卒業生三百八十名がおられます。新年総会を在年会員二十名程の出席をいただき話も盛り上がり大変楽しくやっております。二月二日の新年会には同窓会会長様及び事務局から一名出席いただきました。平成三十五年に迎える百周年記念のお話や学校の様子など貴重なお話を聞かせてくださいました。又八月には会員の有志が集まりパーゴルフ大会をやり大いに楽

しんでおります。

同窓生の活躍を見てみると母校に近しい道北上川のでいで農林産業の中核として大いに活躍貢獻していると思います。又同窓会は社会のあらゆる分野で活躍する人材の宝庫ともいえる人々で構成され異業種交流を通して社会的に貢獻出来る団体であると思います。同窓の絆で結ばれる我々旭川東支部と母校との絆を更に深めるとともに旭川農高高等学校の一層の発展を心よりお祈りしております。

永農・旭農同窓会本部役員・幹事

會副副副副副	長長長長長	島宅勢	堅愛孝秀	一子志隆子	(35Ab)
會會會會會	理理理理理	塚	勝	守	(35H)
任任任任任	事事事事	嶋野葉野	孝よ勝	子	(40Aa)
常常常常常	事事事事	原川	か	夫	(47H)
監監監監監	事事事事	藤藤田	勝	子	(50L)
幹幹幹幹幹	局長計記局	腰木	勝	賴朗勝睦	(35F)
事事務局務	書務務務	山齊伊野宮	勝	則明卓太	(44Aa)
事事務局務	務務務務	鈴	勝		(50L)
事事務局務			吉嘉		(39Ab)
事事務局務			龍		(48Ab)
事事務局務					(38Ab)
事事務局務					(57H)
事事務局務					(55H)
事事務局務					(61F)

〈事務局〉旭川市永山町14丁目153 母校内
TEL(0166)48-2887・1320 FAX48-1360

平成30年 会員多数ご参加ください

永農・旭農同窓生の集い

開催日 平成30年1月27日(土)
時間 15:00～
場所 旭川グランドホテル
顧問期 40・45・50(卒期)
実行委員長 橋村 博(55Aa)
委員長期 55(卒期)
当番期 60・H2・H7・H12・H17
H22・H27(卒期)

編 集 後 記

旭川農業高等学校同窓会機関誌「旭農」(永農通巻第53号)をお届け致します。編集に際し原稿の執筆、資料、写真等をご提供いただきました方々に深く感謝申し上げます。機関誌「旭農」は同窓生皆さんの「絆」であり「広場」でもあります。更に伝統ある旭農会の歩みを刻み、歴史の一頁にしたいと思ひます。

同窓生各位のご健康とご多幸を母校よりお祈り申し上げます。

逝去された会員の皆様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(文責 事務局出版)

永農・旭農同窓会 支部組織役員一覧 (平成29年3月1日現在)
※職域支部廃止(平成22年総会決議)

(平成29年3月1日現在)

※職域支部廃止(平成22年総会決議)

支 部 名	支 部 長 名(卒期)	郵便番号	住 所
旭 川 中 央	安田 佳正 (59F)		
旭 川 東	飛騨野 正幸 (37Aa)		
旭 川 北	奥山 義三 (41F)		
永 山 東 (支部長代理)	谷田 義一 (27Aa)		
永 山 西 (事務局長)	松原 朗 (48Ab)		
東 旭	森定 一二 (36Ab)		
旭 鷹	谷口 威裕 (42Aa)		
東 鷹	柿林 孝志 (42Ab)		
末 鷹	岡 康弘 (29H)		
神 鷹	居 上 隆利 (35Ab)		
神 鷹	辻 義照 (26Fc)		
西 丹	山本 哲夫 (35P)		
江 丹	橋本 祐一 (24F旧)		
上 丹	高橋 義久 (38F)		
愛 丹	高井 優 (46Ab)		
当 丹	中道 眞佐義 (46Ab)		
比 鷹	角谷 真一 (45Aa)		
東 鷹	伊藤 喜代志 (48Ab)		
東 鷹	加藤 敏昭 (44Aa)		
東 鷹	鬼塚 嘉幸 (20Ab)		
東 鷹	堤 義彰 (48Ab)		
富 良 野 (連絡先幹事)	照本 清光 (36Aa)		
中 富 良 野	岸本 和彦 (48H)		
上 富 良 野	土橋 頼浩 (H4F)		
土 名 岩 滝 深 留 吉 北 網 紋 十 苦 日 幌 遠 浜 枝 苦 釧 道 俱 東	安井 士八 (43Ab)		
	工藤 次郎 (46F)		
	和田 敏明 (45Aa)		
	伊林 好 (44Ab)		
	高橋 義輝 (50H)		
	清造 富二夫 (33Ab)		
	橋村 博 (55Aa)		
	深谷 正信 (30F)		
	春田 淑郎 (28Fa)		
	本田 勝樹 (37H)		
	酒井 末治 (32F)		
	工藤 隆 (46F)		
	柏崎 雅 (25Ab新)		
	東雲 良三 (22Fb)		
	柴田 雅紀 (H1Aa)		
	池田 昌己 (50F)		
	山本 慎二 (32Aa)		
	村元 芳實 (37Aa)		